

科目名	スポーツ医学	前期	2 単位
サブタイトル	スポーツの身体への影響	講義	
担当者	斎藤 あつ子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>現在では、アスリート/スポーツ選手だけでなく多くの人々が体力の向上のために、また、高齢者は活動レベルの維持や向上のために、スポーツ/運動を行っている。スポーツでは選手どうしの接触、衝突による外傷や過度の練習などによるオーバーユースによる整形外科的障害が起こりうる。また、既存の内科的疾患に影響を与えたり、内科的疾患を誘発したりすることもあり得る。さらには、スポーツによる体力維持のための栄養学的問題など、多くの医学に関わる問題がある。したがって、スポーツ医学では、医師(スポーツドクター)のみならず、理学療法士、保健師、看護師、栄養士、マッサージ師、トレーナー、コーチ等多くの職種の専門家がチームとして参画することが多い。このような状況の下、「スポーツ医学」では、スポーツ/運動と栄養を通してヒトの健康に関わり社会に貢献できるようになるために、スポーツ/運動に関係する人体の解剖・生理等について学びを深め、スポーツ/運動による健康増進効果とスポーツ/運動によって起こる外傷や整形外科的内科的障害を理解し、スポーツ/運動を行う上で必要な健康管理についてわかりやすく説明できるようになることを到達目標としている。</p> <p>[授業概要]</p> <p>スポーツ/運動に関係する人体の解剖・生理、スポーツによって起こる、外傷や整形外科的内科的障害、スポーツ/運動による体力維持のための栄養学的問題などについて、医師免許を有する教員が講義を行う。経験的、実践的な部分については、学外特別講師による講義を予定している。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康医学入門」「解剖生理学」「臨床医学概論」「応急手当実習」の知識が基本となる。特に「解剖生理学」「応急手当実習」の知識を確認しておくこと。 ・各回、予習・復習を合わせて4時間程度必要とする。 <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション スポーツ医学とは 運動器の仕組みと働き(骨・関節)4/10(水)2限 2. 運動器の仕組みと働き(筋肉)4/17(水)2限 3. 運動器の仕組みと働き(神経)4/24(水)2限 4. 運動器の仕組みと働き(神経伝導路・神経反射)5/8(水)2限 5. エネルギー供給の仕組みとスポーツ 5/15(水)2限 6. アスリートの外科・整形外科的外傷・障害と対策①(学外特別講師・斎藤)5/22(水)2限 7. アスリートの外科・整形外科的外傷・障害と対策②(学外特別講師・斎藤)5/29(水)2限 8. 呼吸器・循環器とスポーツ 6/5(水)2限 9. 血液&体液・内分泌とスポーツ 6/12(水)2限 10. コンディショニング&トレーニングの基礎と実際(学外特別講師・斎藤)6/19(水)2限 11. 子供とスポーツ 女性とスポーツ(学外特別講師・斎藤)6/26(水)2限 12. メディカル&アスレチックリハビリテーション(学外特別講師・斎藤)7/3(水)2限 13. アスリートの健康管理(コンディショニング・メディカルチェックの実際) ドーピング 補足とまとめ 7/10(水)2限 <p>(学外特別講師の予定によって、また、授業の進み具合や理解度によって、前後にズレが生じたり、順序が入れ替わったり、内容に変更が加わったりする場合があります。)</p>			

科目名	スポーツ医学	前期	2 単位
サブタイトル	スポーツの身体への影響	講義	
担当者	斎藤 あつ子		

[成績評価方法]

試験90%

復習・授業中・予習課題への取り組み10% (履修学生に周知の上、配分を変える場合がある)
再試験を行う場合があるが、原則として、再試験の追試験、追試験の再試験は行わない。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業中に設問を出した場合には、その授業又は次の授業中に解説する。
レポートを課した場合は、レポートは原則返却しないが、本科目のいずれかの授業中に解説などする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 栄養1-1/栄養士として、栄養学的知識はもとより、健康やスポーツに必要な食・栄養・運動に関する基礎的・専門的知識を修得している。

成績評価方法: 試験90%

復習・授業中・予習課題への取り組み10%

学科DP番号/DP内容: 栄養2-1-1/小児から高齢者にわたる国民に対し、栄養・運動指導ができる。

成績評価方法: 試験90%

復習・授業中・予習課題への取り組み10%

学科DP番号/DP内容: 栄養3-2/国民の保健・医療・福祉のため、自己の知識・技術・経験をもてる限り提供することができる。

成績評価方法: 試験90%

復習・授業中・予習課題への取り組み10%

学科DP番号/DP内容: 栄養3-3/地域や国際社会における健康づくりや食育およびスポーツの発展に貢献しようとする意欲を常に有している。

成績評価方法: 試験90%

復習・授業中・予習課題への取り組み10%

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法: 試験90%

復習・授業中・予習課題への取り組み10%

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法: 試験90%

復習・授業中・予習課題への取り組み10%

[教科書(ISBN)]

新スポーツ医学 著者名:編/藤本繁夫・大久保衛 出版社:嵯峨野書院 (978-4-7823-0597-3)

[参考書(ISBN)]

1から学ぶスポーツ生理学

著者名:中里 浩一 他 出版社:ナッブ (978-4905168706)

スポーツ救急医学

(【令和版】基礎から学ぶ!) 著者名:奥水 健治 出版社:ベースボール・マガジン社 (978-4583112794)